

機能要件表

別紙1

対応方法を、「標準対応:○、個別対応:△、対応不可:×」で記入すること

No.	要件・仕様	対応方法
	1. システム機能	
	<利用者機能>	
1	簡易検索と詳細検索を用意すること。	
2	検索語を入力しなくても検索ができること。	
3	商用コンテンツ(国内出版物)の読みカナ検索が行えること。	
4	カタカナとひらがなどちらでも検索できること。	
5	ジャンル(児童・音楽など)による絞り込みができること。	
6	ID/パスワードでログインすることにより、貸出・閲覧・返却・予約が行えること。	
7	ライセンスフリーの独自資料はログイン不要で閲覧できること	
8	「借りる」ボタンを押すことにより、貸出手続きが完了すること。	
9	貸出手続きが完了したらワンクリックで借りた書籍を閲覧できること。	
10	雑誌は貸出の制限なく利用できること。	
11	貸出期間が過ぎたら自動的に返却されること。	
12	貸出中の書籍は予約ができること。	
13	用意が出来た電子書籍は、一定期間「取り置き」状態が保持できる。メールもしくは画面での通知機能があること。	
14	任意の書籍をお気に入り登録できること。	
15	利用者向けの詳細な日本語のオンラインマニュアルがあること。(困った時の対処法含む)	
16	お知らせを確認できること。	
17	新着案内を閲覧できること。	
18	特集を閲覧できること。	
19	試し読みができること。(注2)	
20	マイページ機能があり、貸出一覧、予約一覧・お気に入り一覧を確認することができて、返却、貸出延長、予約取り消し、パスワード変更が行えること。	
21	児童書読み放題コンテンツの専用ページを提供できること。	
	<ビューワ機能>(国内出版物向けビューワ)	
22	書誌情報が確認できること。	
23	目次を確認することができ、そこから該当章へジャンプできること。(注2)	
24	しおりを複数セットできること。設定したしおりにジャンプできること。	
25	リフロー型コンテンツは本文にハイライト(マーカー)とメモを複数セットできること。設定したハイライトにジャンプできること。(注2)	
26	しおりとハイライトは書籍を返却するまで、状態を保持できること。返却されると状態がクリアされること。(注2)	
27	ハイライト指定時にハイライト部分をGoogle検索と本文検索ができる機能があること。(注2)	
28	リフロー型コンテンツは色反転表示ができること。(注2)	

29	リフロー型コンテンツは文字の大きさを変更できること。(注2)	
30	リフロー型コンテンツは、パソコン(Windows,Mac)、スマートフォン・タブレット(iOS,Android)で書籍本文の合成音声による音声読上げが行えること。(注2) 読み上げ機能は図書館利用登録者なら誰でも利用可能なこと。	
31	リフロー型コンテンツは読上げのスピードを変更できること。(注2)	
32	リフロー型コンテンツは本文検索が行えること。(注2)	
33	フィックス型コンテンツは誌面全体の拡大表示が行えること。	
34	フィックス型コンテンツは拡大表示のままページ送りが行えること。	
35	書籍中の任意の位置に移動できること。	
36	書籍を閉じて、再度読む場合は閉じたページが開かれること。(注2)	
37	電子書籍を閲覧するビューワーは、ダウンロード、インストールが不要なこと。	
<視覚障がい者向け利用支援サイト>		
38	視覚障がい者がスクリーンリーダーを利用して、自力でシステムへのログイン、検索、貸出、閲覧、返却等が簡易に行えるサイトを無償もしくは有償で提供すること。(マウスレスでの簡易操作が可能であること)	
39	「視覚障がい者向け利用支援サイト」からビューワを起動するとtabキー操作で移動できる各種操作ボタンが表示されること。その操作ボタンにより、マウスレスで各種操作が行えること。各種ボタンにはショートカットキーが割り当てられていること。	
40	音声読み上げ機能に対応しているコンテンツのみを対象とした検索が行えること。	
41	音声読み上げ機能では、再生速度を変更できること。	
<管理機能>		
42	利用者登録機能があること。	
43	詳細な管理者向け日本語マニュアルを用意すること。	
44	選書サイトでは任意の選書条件に基づいた選書リストを自動的に作成できること。	
45	書誌データを無償でダウンロードできること。	
46	管理者側で任意のID・パスワードが登録できること。	
47	利用者一括登録機能があること。	
48	利用者情報の変更・削除が行えること。	
49	図書館側で任意の文字列のIDとパスワードが登録できること。	
50	利用者の貸出・予約状況が確認できること。	
51	以下の条件でのコンテンツ検索が行えること。	
52	書名・著者名・出版者の項目間での検索はAND検索、項目内の検索はOR検索ができること。	
53	文学→小説→ファンタジー といったテーマを階層で指定する絞り込み検索	
54	言語による絞り込み検索	
55	一般書・児童書の絞り込み検索	
56	コンテンツ公開・非公開による絞り込み検索	
57	ライセンス状態(有効、無効等)による絞り込み検索	
58	上記条件はそれぞれ掛け合わせ検索が行えること。	
59	各種条件での検索結果並び替えが行えること。	
60	選書サイトで売上ランキングが表示できること	
61	選書サイトでライセンス切れ間近になったコンテンツの通知機能があること。	

62	検索結果のcsvダウンロードが行えること。	
63	図書館側で独自資料を登録できること。登録できるファイルフォーマットは、ePUB3(注1)、PDF、MP4、MP3等多様なフォーマットに対応していること。	
64	独自資料を無償で登録できること。	
65	独自資料のライセンス数を選択できること。	
66	独自資料の一括登録が行えること。	
67	独自資料の変更・削除が行えること。	
68	独自資料のストレージを10GB以上提供すること。また、容量の追加ができること。	
69	お知らせの登録・変更・削除が行えること	
70	任意のお知らせの表示順を固定できること。	
71	トップページの色を変更できること。	
72	コンテンツ表示形式を変更できること。	
73	新着案内の表示順の変更や削除が行えること。	
74	特集の登録・変更・削除が行えること。最大50件まで登録できること。	
75	トップページに表示するリンクバナーを最大20件まで登録できること。	
76	各種統計を集計することができ、CSVファイル出力が行えること。	
77	貸出統計が行えること。	
78	利用者情報に生誕年・性別を登録することにより、年代別・男女別統計が行えること。	
79	日本十進分類による分類別統計が行えること。	
80	実利用者統計が行えること。	
81	多面・多角的な統計分析を行えるようBIツールを提供すること。	
82	過去に遡った日時点でのコンテンツ数が取得できること。	
83	タイトル数とライセンス数をそれぞれ取得できること。	
	2. コンテンツ提供	
84	図書館向けとして出版者から許諾済の電子書籍が提供できること。	
85	オーディオブックが提供できること。スクリーンリーダーで操作可能なオーディオブックも提供可能なこと。	
86	児童書(和書)の読み放題セットを20セット以上提供できること。	
87	電子雑誌閲覧サービスが提供できること。(和雑誌は100タイトル以上とする)	
88	買切り、期間・貸出回数制限等の様々なライセンス形態のコンテンツを提供できること。	
89	リフロー型、フィックス型のコンテンツが提供できること。	
90	教育活用出来る同時アクセス無制限で利用できるセットが多数用意できること。	
91	青空文庫を含むライセンスフリーのコンテンツが、同時アクセス無制限の形態に対応していること。	

注1:一般社団法人デジタル出版者連盟電書協「EPUB 3 制作ガイド」準拠

注2:コンテンツタイプ、出版者の許諾、コンテンツ作成状態によりできないコンテンツがあることは可